

令和4年第4回熊野町議会全員協議会

会議録

1. 招集年月日 令和4年5月10日

2. 招集の場所 第1委員会室

3. 開会年月日 令和4年5月10日

~~~~~  
4. 出席議員（14名）

|           |           |
|-----------|-----------|
| 1番 水原耕一   | 2番 福垣内邦治  |
| 3番 光本一也   | 4番 中島数宜   |
| 5番 尺田耕平   | 6番 竹爪憲吾   |
| 7番 諏訪本光   | 8番 沖田ゆかり  |
| 9番 片川学    | 10番 時光良造  |
| 11番 民法正則  | 13番 山吹富邦  |
| 14番 山野千佳子 | 16番 大瀬戸宏樹 |

~~~~~  
5. 欠席議員（2名）

12番 荒瀧穂積	15番 中原裕侑
----------	----------

~~~~~  
6. 説明のため出席した者の職氏名

なし

~~~~~  
7. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	榎並正和
--------	------

~~~~~  
8. 案件

【議会】

(1) 議会ペーパーレス会議システムの選定について（協議）

(2) その他

## 9. 議事の内容

(開会 13時22分)

○議会事務局長（榎並） それでは、本日、全協を始めたいと思うんですけども、本日は、中原議員さん、それから荒瀧議員さん、それから尺田議員さんのほうから欠席の連絡が入っておりますので、御報告いたします。片川議員さんが、今、仕事のほうからこっちへ向かわれていらっしゃる、ちょっと遅れるということの御報告をいただいております。

以上でございます。

それでは、進行のほうよろしく願いいたします。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） それでは、皆様、お疲れさまでございます。

議員の皆様方、本日は、お忙しい中、全員協議会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、現在、検討を進めております議会ペーパーレス化につきまして、各事業者から説明を聞き、その後、システムの選定について協議しようと思っております。

皆様から様々な御意見をいただきながら、本日の全員協議会を円滑に進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） それでは、ただいまから、全員協議会を開会いたします。

本日は、協議案件1件を協議いただくこととしております。

それでは早速、協議に移ります。

なお、録音などのことがありますので、意見のある方は、挙手にて指名後、着座のまま御返答ください。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） これより、協議案件、議会ペーパーレス会議システムの選定について、について協議をします。

本日は、プロポーザルということで、議会ペーパーレス会議システムについての説明をいただき、その後、皆さんで協議したいと思います。

それでは、ここからの進行は、事務局長にお願いいたします。

榎並事務局長、お願いします。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議会事務局長（榎並） ただいまから、熊野町議会ペーパーレス会議システム・導入・保守業務委託業務に係るプロポーザル審査会を開催いたします。

本審査会は、ペーパーレス会議システムの業者選定について、審査により、この業者を選定するものでございます。提案、使いやすさを重視するため、価格を重視するのを入札ではなく、プロポーザル方式を取らせていただいております。

指名した3社のうち、2社が参加申請がありました。その2社に対して、これからヒアリングを実施し、選定を行います。

それでは、審査の流れについて、簡単に説明いたします。

これから2つの事業所から、順次提案説明があります。評定を行わず、2つの業者から提案説明、質疑を受けた後、議員の皆様で業者を選定していただきます。

次に、ヒアリングについてですが、ヒアリングの順番は、申請書類の提出の順で決めております。順番は、最初の30分は提案者からの説明、その後15分間を質疑応答時間とさせていただきます。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○議会事務局長（榎並） 以上で、説明は終わります。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議会事務局長（榎並） それでは、ヒアリングに移りたいと思います。提案者の準備ができるまで、しばらくお待ちください。

なお、本日は、お配りしております提案資料につきましては、全協終了後に一度回収させていただきますので、御了承ください。書かれても全然構いませんので、よろしく願いいたします。

つながっておりますでしょうか。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○東京インタープレイ株式会社（高橋） 聞こえております。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議会事務局長（榎並） それでは、ヒアリングを行います。

最初に本企画の説明をしてもらい、その後、議員からの質問に答えてください。

説明時間は30分間です。終了の5分前にはベルを1回、1分前にベルを2回鳴らし、終了時にはベルを3回鳴らします。終了の合図がありましたら、説明途中であつ

ても説明を終了してください。よろしいでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○東京インタープレイ株式会社（高橋） はい、かしこまりました。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） それでは、よろしく願いいたします。

~~~~~○~~~~~

○東京インタープレイ株式会社（高橋） ありがとうございます。

それでは、改めまして、私、東京インタープレイの高橋と申します。

本日は、S i d e B o o k s（サイドブックス）の御説明をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

また、営業担当の草刈のほうも同席しております。よろしく願いいたします。

では、まずもって、本日、御説明のお時間を頂戴いたしまして、ありがとうございます。私のほうから、皆様の議会活動の活性化・効率化のお役に立てるであろうS i d e B o o k sの御提案について御説明させていただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

今日は、プレゼンテーションの場ではございますが、S i d e B o o k sの一番のアピールポイントは、シンプルで快適な操作性というところをお伝えすべく、デモンストレーション形式でS i d e B o o k sの機能のほうは、お伝えさせていただければと思っております。

私、今手元にタブレットを用意しております。皆様のお手元にもタブレットの御用意があるかと思っておりますので、こちらで実際にS i d e B o o k sの操作をしながら、機能の御説明をさせていただこうかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、私のほうの画面をちょっと切り替えさせていただきまして、手元のタブレットを大きく表示させていただきました。こちらでS i d e B o o k sの機能の御説明をさせていただければと思っておりますので、皆さんもよろしければ一緒に御操作いただければと思っております。

まず、今表示されている画面、お手元のタブレットはi P a dになるかと思うんですけども、i P a dのS i d e B o o k sのボタンをタップすると、このような画面が出てきます。茶色い背景にカラフルな箱が並んでいる画面です。こちらがS i d e B o o k sの基本の画面になっております。

この茶色い背景は、本棚に見立てております。書類を格納するための本棚ですね。この本棚が、実はインターネット上にあります。クラウドという言い方をするんですけども、インターネット上にある本棚を今タブレット、私のタブレット、皆様のお手元にあるタブレットのインターネットの通信を使って、同じ本棚を見にいております。皆さんで同じ本棚を共有するというふうにイメージいただければと思います。

箱一つ一つに名前が書いてあります。こちらが、この箱が書類を分類するための箱になりますので、分類ごとに名前がついております。この名前ごとに分類された書類をたどっていただいて、書類を閲覧いただく、こんなシステムになっております。

今、私の手元のタブレット、箱がたくさん表示されております。下のほうにも少し見切れているんですけども、タブレットの画面、指を下から上にすっとなぞってあげると、下のほうにもたくさんこの箱が並んでるよというのが御確認いただくことができます。逆に、上から下になぞってあげると、また元の上のほうの表示を見ることができます。

冒頭で私が、同じ本棚を見ているというふうにお伝えさせていただきましたが、気づいた方いらっしゃいますかね。箱の数が、私の手元のタブレットと、それから皆様のお手元のタブレット、の箱の数が異なっていることに気づきましたでしょうか。

私の手元のほうは、たくさん表示されています。これは、箱一つ一つに閲覧権限というのを付けることができるようになっておりまして、この人に必要な書類は、この人だけに公開するというような権限を設定することができるようになっております。私は、今日、管理者の権限で、この本棚を見ておりますので、全てのフォルダが、全ての箱が見えるような設定になっております。皆様のお手元のタブレットは、今日はデモ環境になりますので、見れる箱の数を少し絞って御案内させていただいております。実際の運用の場では、委員会ごととか会派ごとに見れる箱が異なってきますので、同じ本棚を見ているでも一人一人表示される箱というのは異なってくるというのが、この閲覧権限という機能になっております。

では、早速この中の箱の1つをのぞいてみたいと思います。幾つか箱が並んでる中の一番後ろに水色の箱で、広島県熊野町と書かれている水色の箱があるかと思っています。この中をちょっとのぞいて見てみたいと思います。

箱の開き方は、箱の上を指1本でちょっとタッチします。そうすると、箱の中を確認することができます。箱が開きましたら、またその中にも箱があるような状態になっ

ていますね。これは分類ごとに、大分類、中分類、小分類というような形で書類を分かりやすく区分けするためにこのように書類を管理することができるようになっております。

開いていただきましたら、また2つ箱が並んでいて、あともう一つ書類が出ているかと思うんですけども、箱のほうをちょっとまた開いてみたいと思います。左側、黄色い箱ですね。予算書と書かれている黄色い箱、こちらを開いて、見てみたいと思います。また指1本で予算書と書かれている箱をちょっとタッチします。そうすると今度は、箱ではなくて書類が、表紙が出てきたかと思います。この書類の表紙、箱をたどっていくと、このように書類が格納させていますというのが分かるようになっております。

では、今度は書類を開いてみたいと思いますので、一番左側の令和4年度の予算書、分かりやすい予算書、こちらを開いてみたいと思いますので、その開き方も、箱の開き方と同じになります。指1本で表紙をちょっとタッチしますと画面がぴゅっと切り替わりまして、書類が開きます。表紙が大きく表示されたかと思います。これで書類を開くことができましたので、ここから閲覧いただくような形でございます。

書類の閲覧の仕方なんですけども、ページをめくって資料を閲覧いただくんですけども、ページのめくり方は、また指1本で画面の右から左に画面の上をすつとなぞると1ページずつページがめくれていく。こんな仕組みになっております。画面の上、右から左ですね。なぞってあげると1ページずつページがめくれていきます。このような操作です。実際に紙をめくるのと同じような操作でページをめくっていくことができます。逆に、左から右に画面の上をなぞっていただくと、1ページずつ戻る、こんな動きになります。

今、私はちょっと画面の関係で、タブレット横向きで見えています。タブレットをちょっと持ち上げて、縦向きにすると、これが先ほどまで見開きだった表示のものが、片面表示に切り替わります。横向きで見開き、縦向きで片面表示、これが自動的に切り替わるようになっております。縦向き片面表示にしたときも、操作方法は同じになります。画面の上をなぞってあげると1ページずつめくれていくという操作になります。

今日は、ちょっとスクリーンの関係で、横向きで御説明させていただきますが、会議資料などは、資料によって縦向きで作られていたりだとか、あと見開き前提で作られていたりだとか、もともと横向きで作られていたりとか、いろいろパターンがあるん

ですけれども、これを、タブレットを立てたり、横にしたりすることで、簡単に切り替えて表示することができるようになっております。

見開きで表示した場合、1つの画面の中に2ページ載るような形になりますので、ちょっと文字が小さいな、画面が小さくて分かりづらいな、文字が小さくて分かりづらいなというときには、拡大の操作ができるようになっております。

拡大の操作は、指2本使って行います。指2本をすぼめた形で画面の上に置いていただきまして、画面の上ですぼめた2本の指をすっと広げてあげると、拡大した表示ができます。拡大して表示しましたら、また指1本を画面の上に置いていただきまして、画面の上で指を上へ下へ、右へ左へ動かしてあげることで、見たい場所を表示させることができます。

この拡大の操作も、ふだんスマホとかをお使いの方であればおなじみの操作かと思えます。二本指の操作で拡大・縮小、画面の上で指を広げる、閉じるで、拡大・縮小の操作ができるようになっております。拡大した状態で、少し右のほうを表示していただくと、画面の間にグレーの帯が出てきます。これは何かというと、これはページの狭間になります。

ふだん電子書籍とかを御覧になってる方だとお気づきかなと思うんですけれども、こういった書類を見るアプリというのがほかにもいろいろあるんですけれども、こういったものだと拡大して表示して、次のページに移動すると、次のページでは、また元の大きさに戻ってしまって、また次のページで拡大し直さなくてはいけないという操作が出てきます。Side Booksでは、冒頭申しましたとおり、シンプルで快適な操作性というところに注力して開発しておりますので、この拡大した倍率を維持したまま、次のページに遷移することができます。一見地味な機能のように見えるんですけれども、初めて使う人でも、なるべく手数少なく操作できるようにということで、こういった機能を搭載しております。タッチする機会が少なければ、その分、操作に対してはシンプルで簡単であるということが言えるかと思っておりますので、このようなページを拡大したままページが遷移できるというような機能も、Side Booksでは登載しております。拡大・縮小しながら書類を閲覧いただいたかと思えます。

閲覧終わりましたら、今度は、書類を閉じる操作になります。見終わったら書類を閉じる操作になるんですけれども、Side Booksでは、書類を見ているときは、画面の上にボタンが表示されないようになっております。ボタンが表示されていると

書類を見る邪魔になりますので、書類を見ているときは画面の上に、どこにも閉じるボタン等の機能のボタンというのは表示されないようになっております。

ボタンを表示するときは、画面の真ん中を、今度1回だけちゃんとタッチします。そうすると画面の上と下から、こういった黒い横棒、それからボタンが表示されるようになっております。これがSide Booksの操作パネルというふうに呼んでですけれども、機能のボタンになっております。出てる状態でページをめくる操作をすると、自動的に消えちゃいます。また、出てる状態でもう一回、画面の真ん中をタッチしても、これでも消えちゃいます。なので、ふだんは、書類を見ているときは、この書類の上にボタンは表示されておられませんので、何か操作するときは、画面の真ん中を1回ちゃんとタッチして、ボタンを表示させるというのがSide Booksの操作のお約束になっております。

では、操作パネルが表示されましたら、画面の左上に平仮名の「く」の字のようなマークで戻るボタンが表示されておりますので、こちらを押してあげると書類を閉じて、元の本棚の画面に戻ります。こんな操作になります。

本棚の画面に戻りましたら、また、本棚の左上に戻るボタンが表示されておりますので、押してあげると本棚の階層を1つ上の階層に戻ることができます。

また、本棚の左下に、「ホーム」と書かれたおうちのマークのボタンがありますので、こちらのボタンを押してあげると一気に一番の階層まで戻ることができます。

本棚の中に、分類ごとに書類が格納されております。箱をたどって、分類をたどっていただいて、書類を見つけていただきます。見つけていただいたら、画面をなぞってページをめくって、資料を閲覧いただきます。見終わったら閉じて、また本棚の上の階層に戻ってくる。基本的には、この操作の繰り返しで、書類を確認していただくシステムになっております。

ここまでは、非常にシンプルに操作できたかと思います。タッチするだけで箱の中を確認できて、画面をなぞるとページがめくれて、終わったら閉じるの操作ですね。そのときには、もうこの操作の繰り返しになります。

では、このシステムを使って、どのように会議をするのかというところでちょっと御案内をさせていただきたいと思います。

今、企画提案書を御提出させていただいたものをタブレットで閲覧できるように御用意させていただきました。こちらの書類、本棚の中に格納してあるんですけれども、

本棚のどこの箱に入っているのかを今、私お伝えしてないので、皆さんは、この書類どこにあるか分からないかと思います。会議中にこの書類、御覧くださいというのを通知、お知らせするための機能というのが S i d e B o o k s にはございます。この機能を使って、お知らせを送ってみたいと思います。私がお知らせを送ると、お手元のタブレットの画面の右下、この辺りに青いパネルが出てきます。青いパネルが出てきたら、タッチしていただくと私と同じ書類を開くことができます。

では、ちょっと通知を送ってみたいと思います。お手元のタブレットに御注目ください。

今、通知を送りましたので、青いパネルが出てきたかと思います。出てきたらタッチしていただくと、私と同じ書類を開くことができます。

今日は、ちょっとこの青いパネルが出てきても、約8秒で右にぴゅっと消えてしまう設定にしておりますので、ちょっと今押しそびれてしまった方、もしかいらっしゃるようでしたら、もう一回通知を送りますので、またお手元のタブレットに御注目ください。

今、また通知を送りました。青いパネルが出てきたらタッチしていただくと、私と同じ書類を開くことができます。これ自動的に切り替わるように設定することも可能なんですけども、今日はちょっとデモンストレーションで、タッチして切り替えるというような仕様にさせていただいております。

書類を開きましたら、皆さんは、このようにページをめくって、閲覧していただくことができるようになっております。資料の途中のページを通知で送るということもできるようになっておりますので、またちょっと通知を送ります。お手元のタブレットに御注目いただきまして、青いパネルが出てきたらタッチしてくださると、私と同じページを開くことになります。

このように、こちらの資料を御覧ください。このページ御覧くださいというように御案内しながら会議を進めていただくことができるようになっております。

例えば、この青いパネルを見逃してしまったとか、あるいはちょっと別のノートにメモを取っていたとか、そのような状態で青いパネルを見逃してしまって、会議の流れ、今どこの資料を見てるのか分からなくなってしまった場合、こんなときは、画面の真ん中を1回ちょっとタッチしていただきまして、上のほうに出てきたボタン、今、熊野町プロポーザル参加中というふうに枠が出ているかと思います。

今、私、左側の「発信」というボタンを押して通知を送ったんですけども、今日はちょっとデモ環境なので、私しか発信ができないようになっております。

右側の「一覧」というボタンがあるんですけども、この「一覧」というボタンを押していただきますと、ここに誰が何分前にどの資料を通知したか、この履歴が残るようになっております。この履歴が、それぞれの資料にジャンプするボタンになっておりますので、最後に通知されたところをタッチしていただきますと、背景がそのページに切り替わります。

この枠は、枠の外の空いてるところどこでも結構です。タッチしていただくと消えるようになっておりますので、これで会議の流れに戻っていただくことができる。こんな仕組みになっております。

こちら通知については事前設定が必要になっておりまして、設定自体は1分程度でできる設定になっております。誰と誰が、何月何日の何時から何時まで会議に参加しているというのを事前に設定しておきます。設定しておくと、設定しているメンバーの中だけに、この通知が送られてくるというような機能になっております。会議に参加してはいるんだけど、同じ時間に資料を見ていて、勝手に通知が送られてくるということはないことになっております。

このように資料を閲覧いただきまして、会議通知を使いながら、会議を進めていただくことができる。こんな仕組みになっております。

会議のときに、もう一つよく使う機能は、資料についてメモ書きをすることができるようになっております。このメモ書きの機能をちょっと御説明させていただきたいと思います。今開いている資料、どこのページでも結構です。開いているページにちょっとメモ書きを残してみたいと思います。

メモ書きの仕方は、先ほどの操作パネルから操作いただくような形になります。画面の真ん中を1回ちょっとタッチしていただきまして、操作パネルを表示させていただきます。上のほうにボタンが並んでおりますので、左から3つ目、紙の上にペンが置いてあるマーク、こちらがメモ書きの機能のボタンになっております。見つけていただきましたら、指1本でちょっとタッチいただきますと、画面がぴゅっと切り替わりまして、下からこんな枠が出てきます。これがメモ書きのツールになっております。これでメモ書きモードに移行しました。

どのようなメモが書けるのかというのは、下から出てきた枠の上段に4つボタンが並

んでおります。ペンのマーク、あとフリーハンド、手書きモードですね。その隣が、ペンに定規を当ててるマークあるんですけども、真っ直ぐな直線を引きたいときは、こちらのマークになります。その隣がキーボードのマークなんですけれども、キーボードでカチャカチャとメモ書きしたいときは、こちらのキーボードマークになります。一番右側は、カメラのマークです。写真をパシャッと撮って、資料にぺたっと貼り付けておくなんてことが、できるようになっております。

手書きメモをちょっと書いてみたいと思いますので、一番左側のペンのマークで、ペロんちよんとタッチしていただきますでしょうか。白く囲われて、選ばれましたよというのが分かるようになっております。

その下にカラフルな升が8色記載されております。これは、ペンの色を表しております。ペンで分かりやすく、赤色を選んでみたいと思います。

その下に白い丸、6つ並んでます。これは、ペンの太さを表しております。ちょっと画面で分かりやすいように、一番大きな丸を選んでみたいと思います。アルファベットのふにゃふにゃと波線が入ったマークが2つ並んでるんですけども、これはちょっと一旦左側を選んでおいてください。左側を選ぶと塗りつぶしの実線、右側を選ぶと半透明のマーカー線が引けるようになっております。一旦左側を選んでおいてください。この状態で、メモの上になぞっていただきますと、このように簡単にメモが書けるようになっております。資料にメモ書きを残してみました。

書いたメモを今度は保存をさせる操作なんですけれども、ここもSideBooksは非常にシンプルになっております。パソコンとかだと上書き保存とか、名前をつけて保存とか、この場所指定とか、絶対あの操作が出てくるんですけども、SideBooksでは、画面の左下に「完了」というボタンがあります。「完了」というボタンを押してあげると、これでメモ書きモードを終了して、終了すると同時に書いたメモデータも保存されました。

ページをめくっていただいて、戻っていただくとメモを書いたページには、そのままメモが保存されているというが、お分かりいただけるかなと思います。

この書いたメモは、どこに保存されたかというと、元の書類と同じです。本棚と同じように書いたメモデータもインターネット上、クラウド上に保存されるような仕組みになっております。ですので、例えば会議中、タブレットを使って資料にメモ書きをして、同じ資料を自宅のパソコンから本棚に接続して、見てみたい場合、自宅のパソコン

コンから接続した場合でも、同じようにメモが載った状態で資料を確認することができます。あるいは、出先でスマートフォンで資料を見てみたいとき、会議のときに書いたメモ、タブレットで書いたメモというのが、反映した状態でスマートフォンでも、資料をメモを反映させた状態で見ることができるようになっております。

インターネット上に資料とメモが、ともに格納されておりますので、違う端末で閲覧したとしても、メモが同じように閲覧することができるというような形になっております。

ただし、個人個人のIDとパスワードにひもづけられますので、御自身の書いたメモが、ほかの方に見られるということは一切ないように設定されております。

御自身が使う端末で、御自身のID、パスワードでログインいただくことによって、御自身の書いたメモというのが書類に反映されます。これは一人一人IDが書かれておりますので、御自身で書いたメモというのは、ほかの方には一切見られないような仕組みになっております。

なおかつ、この書いたメモをこういったクラウドサービスだと、こういった書いたメモもデータになりますので、容量をメモデータ、画像データとして、容量を食ってくるんですけども、SideBooksに関しては、書いたメモデータの容量という、クラウドの容量に反映されないような仕組みになっております。なので、メモについては書き放題で使っていただくことができます。メモの機能がせっかくあるんだけど、クラウドの容量、サーバーの容量が逼迫してきたから、ちょっとメモの機能を使わないでくれというようなシステムもある中、SideBooksについては、そういった制限なく、いつでもどこでもメモ書きを、制限なくメモ書きすることができるようになっております。

簡易通知の機能とメモ書きの機能を御案内させていただきました。メモについても、マーカー線が引けたりだとか、メモ書き中に拡大・縮小ができて、余白を拡大させたりとか、細かくいろいろ機能があるんですけども、本日は、お時間の関係で、割愛させていただきますが、書き放題でメモが書けるというところが、SideBooksのメモ機能の特徴になっております。

残りの時間、ちょっとわずかになってまいりましたので、ほかにも、今一旦、書類を分類からたどっていただいて、閲覧いただく動き、それから会議中に通知を送って、資料を閲覧いただき、そこにメモ書きをするというような操作を御体験いただきまし

たけれども、ほかにも書類を検索したりだとか、後は、よく見る資料にしおりをつけておこなうという、いろいろ機能がございます。

ちょっと詳しい御説明については、割愛させていただきますが、このように実際の運用が始まっていくと、たくさんの箱が格納されるようになってきます。この中から、分類をたどって、書類を探していただくというのは、探し方の一つなんですけれども、それ以外でインターネットで検索するように、キーワードで検索して、書類を見つけていただくということもできるようになっております。

ちょっと今日は、機能の御紹介だけにとどまりますけれども、ここに文字入力をしていただきまして、インターネットで検索されるかと思えます。例えば熊野町で検索すると、さっき言ったずらずらと出てきて、本棚に格納されている資料の中から、熊野町というキーワードが載った書類をずらずらずらっとリスト表示されるような形になります。複数のキーワードで検索することもできますので、これもインターネットと同じですね。キーワードとキーワードの間にスペースを入れてあげることで、複数のキーワードで検索することができます。熊野町スペース、令和4年度スペース、福祉スペース予算とか、そういった複数のキーワードを入れて。

(「1分前です」の声あり)

○東京インタープレイ株式会社(高橋) 検索されることによって、御自身の得たい情報にたどり着いていただくことができるようになっております。

以上、すみません。ちょっと最後、駆け足になってしまいましたが、Side Booksの御説明とさせていただければと思います。どうもありがとうございました。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) ありがとうございます。

それでは、質疑に移りたいと思います。質問のある委員は、挙手をお願いしたいと思います。

Side Booksさん、聞こえますでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○東京インタープレイ株式会社(高橋) はい、聞こえております。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) 質問は、ありませんか。

特にないようでしたら、これで終わりたいと思いますが、よろしいですか。

民法議員。

〇11番（民法） 先ほどメモ用紙で1、2、3とかいろいろ書くじゃあないですか。途中で削除の仕方は分かるんですが、1文字消す、途中の、そのやり方を教えてください。

〇東京インタープレイ株式会社（高橋） 御質問ありがとうございます。ちょっとお時間の関係でメモの仕方については割愛させていただいたんですけど、御質問をいただきましたので、御説明させていただければと思います。

先ほどこちらの資料でメモ書き1、2、3、4、5と書いたんですけども、1回保存してしまったので、もう一度、今度は違う行に書いてみますね。ごめんなさい、ちょっと指が滑ってしまって、ABCと書いたつもりなんですけれども、ABCと書いた例えばCだけ消したいよとか、Bだけ消したいよとか、こういった操作です。全部消すときは、メモモードの画面の右下にごみ箱のマークがありますので、これを押すと書いたメモが全部消えるようになっております。

全部消したいわけじゃなくて、1文字だけ消したかったというときは、ごみ箱のマークの2つ左隣に、左向きにくるっと回った矢印のボタンがあります。こちらを押してあげると、これが操作のやり直しボタンになっております。同じボタン、左向きにくるっと回ってるボタンを、同じボタンを何回か押してあげると、最後に書いた線から順番に消えていくというような動きになります。操作のやり直しが、ここでできるようになっておりますので、ここで戻りたいところまで消していただくことができるようになっております。消し過ぎたなというときは、右向きの矢印のボタンがありますので、こちらでまた今消した線を1本ずつ書いていくというような動きになります。

途中で書いた3だけ消したいよとか、4だけ消したいよというときは、指定削除という方法ができます。消したい線を指定して削除してあげるという方法になります。

やり方なんですけれども、一番下の真ん中に白く囲われているボタンがあるんですけども、その右隣に人差し指のマークのボタンがあるかと思います。人差し指のマークのボタンをちょっと押しまして、その後、消したい線をタッチすると、これで、この3が指定されましたよというのが、分かるようになっております。この状態で右下のごみ箱のマークを押してあげると、選んだ線だけが消えるというような形になって

おります。

この指定削除については、少し応用機能になってくるんですけども、このように一筆ずつ戻っていただく、あるいは指定した線を消してあげるということもできるようになっております。

よくこういったお絵かきアプリみたいなものと消しゴム機能なんて、画面をごしごしこすると消えるというような機能のアプリとか使ったことある方いらっしゃるかもしれないんですけども、どうしてもその方法だと、データ上のごみが残ってしまいますので、S i d e B o o k sでは、このように一筆ずつ消していくという方法を採用しております。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ほかにございませんか。

尺田議員。

~~~~~○~~~~~

○5番（尺田） 見てみたらPDFのファイルばかりなんですけども、エクセルやワードについても、これで対応できるのでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○東京インタープレイ株式会社（高橋） 御質問ありがとうございます。S i d e B o o k sに書き込めるファイル形式というのは、基本的には、書類の形式についてはPDFのみになっております。御質問いただいたようなワード、それからエクセルとか、いわゆるオフィスソフト、そういったものについては、格納できないようになっております。これは、S i d e B o o k sが出来上がった文書を格納しておく場として御利用いただく御用意しているからでございます。

今いただいた御質問のワードとかエクセルとかを共有したいというのは、恐らく共同編集の用途かなというふうに思うんですけども、そういったワードとかエクセルとかの共同編集であれば、グーグルドライブとか無償サービスが今結構ありますので、そういったものを御利用いただくのが一般的になっておりまして、最終的に出来上がったものを共有する場としてS i d e B o o k sを御利用いただければというところで、御回答とさせていただければと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 沖田議員。

○議会事務局長（榎並） それでは、ヒアリングを行いたいと思います。

本日の本企画を説明してもらいまして、その後、議員さんのほうの質問に答えていただければと思っております。

説明の説明時間は30分間でございます。終了の5分前にベルを1回、1分前にベルを2回鳴らし、終了時にはベルを3回鳴らします。終了の合図がありましたら、説明途中であっても説明を終了してください。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○議会事務局長（榎並） それでは、よろしくお願いたします。

~~~~~○~~~~~

○キッセイコムテック株式会社（谷口） こんにちは。キッセイコムテックの谷口と申します。

今日は、貴重な時間を頂戴しまして、弊社のSmart Discussionというペーパーレス会議の御説明をさせていただきたいと思います。私は、今日は西日本担当ということで、大阪から今日は参りました。今ちょっと先ほどお手元に配らせていただきましたこの冊子、印刷物と同じ内容でデモをさせていただきたいなと思っております。

まず初めに、弊社の簡単な御紹介をさせていただきたいと思います。弊社は、キッセイコムテック株式会社、長野県の松本が本社になっておりまして、昭和60年、1985年に設立しまして約40年足らず、37年ぐらいになります。書いてますように、ちょっと御存じある方もいらっしゃるかもしれませんが、親会社はキッセイ薬品株式会社の、もともと情報システム部門が100%子会社化になった、そういう会社でございまして、手前みそでございすけども、薬品関係扱ってる。そういう非常に真面目な会社でございす。

こういう形で、私はいろんな、ビジネスエス・アイとかいろいろあるんですけども、今日はちょっとスマートデバイスソリューションといいます弊社は、このペーパーレス会議に特化した舞台を、ちょっと私たちも舞台がございまして、ここを全国販売させていただいている状況であります。

続きまして、せっかく今日は、貴重な時間をいただきまして、単純なデモだとなかなか使い勝手が分かっていただけないかなと私が勝手に思いまして、まず議員様が定例会の前にどういふことをされてるか、いろいろシチュエーションでお伺いしたら、

やはり調べもの、いろんなことをされて議会に参加されるというのを伺っていますので、今日はちょっとした、私の勝手なシーンなんですけど、定例会前にこういうシーンがあって、議員様がどういうことでどういうふうにされるか。議会に入ってからどうされるかというのを具体的にちょっとデモさせていただけたらと思っております。

また、御不明な点ございましたら、また後ほど、どんどん御質問いただけたらと思います。

まずは、定例会前に議会事務局の方が資料登録されるという、当然ちょっと議員さんメインで御説明するんですけど、まずはちょっと資料登録がどれだけ簡単かということも、少しちょっと見ていただきたいなと思っております。

ここはどっちかというたら議会事務局様のほうでございませうけども、これが通常のパソコンの画面でございまして、ブラウザというんですか、・・・サファリというインターネットの接続するブラウザという、よくインターネットでよく見られる、ヤフーだとか見られる、そういう画面でございませう。

ここで資料登録で、今日は、5月10日のフォルダ、フォルダみたいなのを作っております、今日は5月10日の令和4年度熊野町総合計画の目次の一番、ここでいう目次の5ページに当たりますでしょうか、議案一覧PDFというものを登録したいと思っております。

登録の仕方は、パソコンで、例えば議案一覧のPDFを選んでいただいて、これを右から左へ移動する。寄せるという、片仮名で言うとドラッグ・アンド・ドロップという、そういうこと言うらしいんですけど、要するにこういう形で簡単に、何かを選ぶんじゃないくて、ぴゅっと横にやっただくと自動的に議案一覧PDFというのが、これがペーパーレス会議の仕切りのほうに、特定のところに、クラウドというんですけど、サーバーのほうに登録できたという状態になります。

まだ、皆様のiPadのほうにはありませんので、すみません、ちょっと私が渡し忘れておりますけど、皆さんに1人1台がないので、ちょっと触っていただけるかどうか、ちょっと皆さんで見ながらさせていただけたらと思っております。

前、失礼します、すみません。

こういう形で、まずは皆様は、iPadの、もしくはタブレットに・・・いただけるという形、ちょっと前へすみません、議長さん申し訳ございません、また見てください。1人1台がちょっと御用意できなかったんで、申し訳ございません。皆さんで、

この1台でちょっと見ていただくと、こういう感じかなというのを見ていただけたら、より分かっていただけるかなと思います。

少しちょっと大きめのやつを御用意します。ちょっとよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○キッセイコムテック株式会社(谷口) ありがとうございます。

ちょっといろいろ種類はあるんですけど、私がいつも使っているこの小っちゃいiPadでございますもので、大きいほうが見やすいかなとか、御用意させていただきました。

これは議会事務局さんのほうでございまして、今から何かなと議員さんが、まずこういうことで、今資料登録しました。議会事務局の方が、資料登録されました。議会事務局さんは、新しい資料を登録されたというのを議員さんにお伝えしたいと思うんですよね。されてもなかなか分かりづらいと思いますので、これよくできていまして、ちょっとこの画面を切り替えさせていただきます。

皆さんも、もし御興味ある方は、iPadを触っていただいて結構でございます。

今は、こんな画面、ちょっと皆さんの画面とは少し違うかも分かりません。この青いやつを押していただきますとディスカッションという、青いボタンどうですかね。

ありがとうございます。そしたら、何かくるくる、くるくる回ってますかね。更新中、こういう形なんが出ましたかね。

(「はい」の声あり)

○キッセイコムテック株式会社(谷口) ありがとうございます。大体こういう形で、私の画面は出てます。議長さんのほうも出てますか。

(「はい」の声あり)

○キッセイコムテック株式会社(谷口) ありがとうございます。1台だけ動きの悪いやつがあるんで申し訳ございません。

それで、今どういうことかといいますと、皆さんがiPad・・・押した瞬間に、6個のファイルが新しくありますというのが、ここでも表示はできるんで、皆さん、ここで更新と押していただけますか。

こういう形で、新しくファイル、新しい資料を登録すると、議員さんは、パッと動かしした瞬間に、新しいファイルが4つ入りましたというのをすぐに分かりますので、すぐく分かりやすいんですね。ちょっと皆さんが一斉に入ってるんで、どうですかね。

こういう形、終わりましたですかね。

こんな画面になりましたですかね。大丈夫ですか、違うようでしたら挙手していただけたら。

(「IDの確認、今はしないでいいですか」の声あり)

○キッセイコムテック株式会社(谷口) すみません。変なん出てきましたか、大丈夫です。

今、熊野町議会にしたものを、それで1つ委員会というのですか、会議の種類になります。ちょっと自分の委員会がないという人いたら怒られるから、ちょっとホームページでちょっと入れてみただけなんで、これは本当のやつではないですよ。家でちょっと作ってきました。

それで、今日は熊野町議会に6個の新しいファイルができましたというのがここで分かります。今日、ただ資料を見たいなと思ったら、iPadの中で資料を見たいなと思ったら、これをちょっとポンと押していただけますか。どうですかね。

ちょっと見方はいろいろ、こんな画面になったり、こんな画面になったり、いろいろ違うと思うんですけど、何かおかしいなと思ったら、TOPのところだけポンと押していただいて、この画面が出ますので。この画面になりましたですかね。

(「はい」の声あり)

○キッセイコムテック株式会社(谷口) ありがとうございます。ここは、パソコンなんかでよく見られてる方も、こういうフォルダみたいな、定例会、臨時会、全員協議会、いろんなフォルダがあって、今ここには5つ新しく入りましたみたいな、そんなイメージです。

あともう一つ、お知らせがありますね。上のほうにベルみたいなん、それを押していただくと、資料更新のお知らせみたいなんがありまして、こういう形で執行部さん、もしくは議会事務局さんのほうが、議員さんにお伝えしたい、どういう内容かというのをここでまたメッセージが増えたり、こういう形で非常に議員さんに分かりやすい形で作られていますので、この辺うまく使っていただきますと、これ今、全体に案内したり、委員会別に案内したりとか、そういうことが簡単にできるようになっています。非常に執行部さん側のほうも、議員さんのほう非常に分かりやすいんじゃないかなと思って、こういうのも搭載しています。ここまではよろしいですかね。

(「はい」の声あり)

○キッセイコムテック株式会社（谷口）　こういう形で、とにかく議員さんと執行部さんとのコミュニケーションが簡単に取れるということも一つの特徴です、弊社の。大丈夫ですかね。ここまではいいですかね。

（「はい」の声あり）

○キッセイコムテック株式会社（谷口）　続きまして、よくあるのが、調べもんされて、やっぱり議会に来られるということが多いので、先ほどもちょっと何か話題になりました、いろんな調べものをパッと iPad というかタブレットでできたら非常にいいと思います、いろんな資料があるので。

でも探すのも結構いろいろあったら、どこにどんな書類があるかて、なかなか分かりづらいと思われま。例えば今この中に、皆さんどういう、ファイルが入ってるって、御存じの方は今はいないと思います。

例えば私が、この左上の「検索」といううちわみたいなのを押します。検索といううちわみたいな、金魚すくいみたいなやつがあると思うんですけど、触っていただいて、全然好きな方はどんどん触っていただいて。ここで例えば私が、図書館とあります。図書館で検索しますと、この中に入ってる全ての資料から図書館というキーワードだけ、語句だけ選んで出てきます。これ例えば「検索」と押します。押しますと一瞬でいっぱい入ってるんですけど、まだここでは分からないんですね。例えば私がポンと指でタッチしますとどうですかね。熊野という、たったその中にこれだけ図書館というキーワードがあるんです。例えばポンと私が、図書館と押すと、左側に検索してる図書館のキーワードのところにちゃんとハイライトで黄色のあんなマークでどこにあるかとあるので、何か語句を探したいときとか、令和3年度の何かを見たいな、見つけたいとき、ここに入ってる資料しか駄目ですよ。インターネットで何か引っ張ってくるわけじゃないので、あくまでもこの中にあらかじめ登用された資料からは、こういう形で瞬時に検索ができます。結構これが、議員さんに喜ばれるというか、結構使われるとお伺いしてます。最初はなかなか検索で難しいと思っております。

また、検索の仕方もいろいろ、私、キーワードで入れましたけど、弊社のやつは、キーワードを使えない、なかなかスマホも私なかなか難しいとおっしゃる方、後でちょっとまた、キーワードを使わない、ワンタッチでできる検索のほうも、ちょっと御紹介したいと思っておりますので。ここまでよろしいですかね。

後は、また議員さんから、図書館といたらいっぱいあると、ファイルがね。もっと

もっと検索を縮めたい、例えば図書館の後ろに、例えば図書館と筆祭りという2つのアンドというが、2つの語句が入ってる資料だけ検索したいという場合は、これでスペースを入れていただくと、ここで検索していただきますと、一瞬で、さっき4つあったんが2つになる。それで、左側のやつをパッとタッチしますと、どうですかね、「筆祭り、図書館」てちゃんと語句を2つ選んだやつだけ出てくるかと。

そんな簡単に今ちょっとなかなか初めてで、何を言ってるか分からないかも分かりませんが、こういう機能も使っていただくと非常に便利だと思います。グーグルだとかヤフーでも検索されるときに、中にスペースを入れたりだとかされるとは思いますけど、そんなことをします。あくまでもこの中に入ってる資料で、触っていただいて。こういう形で2つの検索もできるようになっております。

後は、この辺の検索は置いときまして、後はもう一つ、一番今日は皆さんに御体感していただきたい、見比べの資料で、よくあるみたいですね。去年の予算と実行、それって、他社さんのやつで、何か縦、横すると、小さくなったりする。弊社は、このSmart Discussionでアプリの中で全て完結してますので、例えばこれの一つ、何かこういう資料を出して、例えばここに並べて開くというパターンと、別にブラウザといいますか、そういうサファリという、何かそういうのは別に立ち上げるんじゃないかと、自分たちで別の資料を、どうですか、こういう形で。これ別に片っ方はサファリでも何でもない、このアプリケーションのアプリなんですね。

何がいいのかわかると、これなんですよ、縦、横。このiPad非常によくできてまして、これ今、縦、縦ですけど、縦、横でも自動的にiPadの分が、横なのか縦なのかというを検出しながら、この弊社のアプリケーションをうまく調整しながら、ただ、これ見比べて、お互いめくり合ったり、当然細かい、大きくしたりができるとか、別々にメモをしたりとかということが、個別にこういう形でアンダーライン引いたり、別々の文書を別々にメモ書きができたり、こういう中で非常に弊社の特徴です。これは他社さんできないところですね。こういうところは、非常に喜ばれてるところでございます。

メモをしたりとか、後は、並列表示というところですね。ここは非常に大事だと思います。皆さんよく使っていらっしゃる。後は、いろいろページ数が多い場合、しおりをつけて、パッと自分が発表したりとか、自分が見たいとか、ここに何かこういうのもありますので、これしおりなんですね。この簡単なしおりパッとつけていただいて、

ざっと何ページ後でも。ここに左下に・・・一覧表示するようになってます。何か押していただくと、一瞬でこう・・・。この下がスライダーとなっておりますので、スライダーとおっしゃるとこ、何ぼでも何百ページあっても簡単にすっぴんこう行く。非常に弊社のペーパーレス会議はさくさく動くということが非常に特徴なんで、御体感してください。

あと、せっかくしおりつけても、この何百ページあったときに一瞬でしおりのところに出したいということもあると思いますので、ここにフィルターみたいのが、じょうごみたいの、しおりがついたページだけでやると、しおりのついたページだけ一瞬でパッと出てきたりとか、後はメモ書き、付箋がついてるところだけちょっと出してみたりだとか、自由に十分、何かメモ書きして、何かコメント入れといて、議会のときに議場でちょっと何か質問したいなとか、非常にそういうシーンがあると思うんですけど、そういうことも簡単に、事前にメモ書きしといて、自分でこうまた。

少し何かイメージついてきましたですか、どうですかね。

という形で、非常に議員さん目線で、議員さんの御意見を頂戴しながら、いろいろさせていただいております。

あと、メモ書きは、メモ書きも非常に特化しております、例えばここで今、Aの下にアンダーラインがある。これアンダーラインなんで、指タッチです。指を私が、指をびゅーっとするとアンダーラインが引けたりとかというのができましたり、あときれいにアンダーマークしてあるとこの赤いAが、ピンク色なんですけど、これをやると、こういう形で真っ直ぐ消せるとか、触っていただけると、すぐに、こういうマニュアル見ながら会議するわけじゃないので、パッと見た瞬間でこういうように触っていただいて、・・・。この辺までは大丈夫ですかね。

今、メモ書きのお話だったり検索のお話をさせていただきました。残りも少しずつなってきましたので、あと当然、紙以外のもの、何かどっかに視察された写真を撮ったり、ビデオで皆さんで共有するシーンも増えてくると思います。そういうときも弊社のやつは、ビデオがかくかく動くんじゃないで、ちょっと音が怖いんですけど、ボリュームを小さくして、急に大きな音出たら、それだけお願いします。ちょっといいですかね、ちょっと動画。

(動画再生)

○キッセイコムテック株式会社(谷口) これ、こういう形でオフラインでも、一旦弊社

のやつは iPad の中へ全部データが入りますので、さくさく動きます。最初は、ずっと何かサーバー上からデータを引っ張ってきますんで、非常にネットワークに負荷が軽くなったり、ネットワークに、オフラインのときは、圏外のときは駄目ですけど、弊社のやつは、もうどこでも、いつでもどこでもこういう形でビデオを再生したり、写真を見たりすることが可能になっておりますということですね。

あと写真なんかも、どうですかね。こんな形で、写真もすごくきれいに見れます。なかなか今まで紙で配っても、写真てなかなか皆さんで共有できなかったと思うんですけど、これをうまく使っていただくと、写真とか動画とかというのもスマートにできますし、当然、拡大、これもああいう形で拡大できたりとかしますので、ここでもメモ書きができたりとかができます。大丈夫でございます。スマホで撮った写真をこういうふうに上げていただいて、皆さんで共有するというのも簡単にできますんで、うまく使っていただけたらなと思います。

あとちょっと、面白い使い方として、先ほどちょっと私が検索でキーワードを使わなくてもいいですよ、ちょっとお話しさせていただいたんですけど、例えば先ほどの、ここに文字選択であるんですけど、「文字選択」と押していただくと、文字を選択して、例えば私、今、行政というのを、ブルーになったと思うんですけど、そこで全文検索すると、行政がなかったみたいですけど、そういう形で指をタッチするだけで、コピーができて、いちいちキーボードを入力しなくていいので、非常に便利だと思います。そういうのもちょっとありますので。

残り5分になりました。ありがとうございます。

という形で、非常に議員さんに簡単に使っていただけるように、いろいろ議員さんの御意見を頂戴しながらさせていただいてるところでございます。

あと残り少ないんでございますけども、最後のほうに、先ほどのテキストの書き方の御案内をしたりとか、文字入力は今ちょっとまた御案内がありますので、また後で見たいと思います。

あと非常に便利なのが、式次第というか議案の一覧があって、議案一覧からいろんなところの資料に飛ばしていく、参考資料に飛ばしていくというのも簡単にできるようになってまして、例えば今日は、先ほど登録した議案一覧、例えば第6次総合計画の基本構想についての、この参考資料も、私が第1号のここをパッとワンクリックしますと、そのページにパッと飛んでいくみたいに、こんな仕掛けもできるようになって

ますので、非常にうまく使っていただくと、議員さんが発表するときによく簡単にできるんじゃないかなと思っておりますというファイル管理の仕組みだったり、横だったりとかということが可能になっております。

もう少しお時間がないのですが、最後に、あとこういうのを使っている。SDGsでどれだけ用紙が削減できたというのも、ちょっと議員さんの方は見れないんですけど、執行部側からの仕組みから、簡単に議会でどれだけ削減できたか。SDGsに貢献できるのか、こういうのも一応簡単に、標準についてますということと。

最後にセキュリティーと、セキュリティー非常にこういう大事な資料ではございますんで、全てiPad上に暗号化がかかってますので、クラウド上にも暗号化、通信経路も全て暗号化となる。万が一、タブレットを紛失なされても、管理者の方がワンクリックでデータが消える。そんな仕組みもありますし、データセンターも24時間ちゃんと日本国内で二重化、三重化なっておりますので、御安心して使っていただけたらと思います。

最後に、一番大事なんですね。本市運用体制が非常に大事やと思います。私が、今日お邪魔したのは、皆さんに御挨拶できたこと、私はこうやってサポート部隊もちゃんとバックアップに行ってますし、今回、もしも御採用いただいて、真摯にこうやって皆さんのところにお伺いして、操作説明をちゃんと別々で御案内させていただきますんで、リモートというのをやりませんので、どんどん、どんどん私に御質問いただいたり、ずっとやってたり、ちゃんと皆さんが御活用できるまで、責任持って、私が御対応させていただきます。御安心して御採用いただきたいと思います。

ということで、お時間になりましたので、私の発表を終わらせていただきます。大変ありがとうございました。

(拍手)

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） ありがとうございました。

それでは、質疑に移りたいと思います。質疑がある議員の方は挙手をお願いいたします。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 質疑はありませんか。

片川議員。

〇 9 番（片川） よう分からんのですが、今の出来上がったパターンのシステム自体は、何年度にできたシステムですか。

〇 キッセイコムテック株式会社（谷口） そうですね、8 年前ぐらいですかね。

〇 9 番（片川） ということは、もうそろそろ変わってくるんじゃないですか。毎回変えていくんですか。

〇 キッセイコムテック株式会社（谷口） 毎年、新しいバージョンにいろいろお客様の御意見を頂戴しながら、どんどん、どんどん進化していってます。

〇 9 番（片川） このシステムの保証ですよ。何年ぐらいあるんですか。

〇 キッセイコムテック株式会社（谷口） 保証ですかね。特に 10 年、20 年というのはないんですけども、お客様が御利用される限りは、ちゃんと保証させていただきます。

〇 9 番（片川） それとシステム改修をしますというて、また予算がかかったりということはないんですか。

〇 キッセイコムテック株式会社（谷口） それはないです。大丈夫でございます。

〇 9 番（片川） ないんですか。

〇 キッセイコムテック株式会社（谷口） はい。月額の中には全て入っておりますので、その辺も御安心して、サポート費用も全て入っております。

〇 議長（大瀬戸） ほかにございませんか。

尺田議員。

○5番(尺田) 今回の資料の中で、資料グループというのがあって、委員会ごとに項目があるんですけども、それぞれ委員しか入れないような権限みたいなものは、つけられるんですか。

~~~~~○~~~~~

○キッセイコムテック株式会社(谷口) 今、デモ用ですので見えるようになっておりますけども、議員さんがパッとログインすると、例えば総合委員会は見れないとか、自分が参加できる所だけしか見れない。その仕組みで、ちゃんと御対応できますので、標準で。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) ほかにはありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(大瀬戸) じゃあないようでしたら、これで終わりますが、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○議長(大瀬戸) それでは、ありがとうございました。

~~~~~○~~~~~

○キッセイコムテック株式会社(谷口) どうも今日は、ありがとうございました。よろしくお願ひします。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長(榎並) 以上で、ヒアリングのほうは、終了させていただきます。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) それでは、暫時休憩します。再開は、15時です。

(休憩 14時47分)

(再開 14時59分)

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) では、皆さん、おそろいですので、ちょっと早いですけど再開します。

ただいま2社からヒアリングを受けました。今日は、これから皆さんで、どちらかを選択して、決定したいと思います。プロポーザルですので、金額の安いほうとかということではございませんが、今聞かれたように説明を受けまして、皆さんの率直な気持ちで決めたいと思うんですが、その前に御意見とか、こっちがいいよとかというような意見がありましたら、今の間にお願ひしたいと思うんですけど、御意見とかござ

いませんか。

片川議員。

~~~~~○~~~~~

○9番（片川） ものは、そろうんですか。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ものですか。

~~~~~○~~~~~

○9番（片川） この時期じゃけん、入らんのんじゃないん。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） それについてちょっと。

事務局長。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） 今回は、ペーパーレスのソフトの部分なんですけども、今回、まずソフトのほうを先に決めさせていただいた中で、6月の入札のほうで iPad の p r o を一応希望しておりますので、最後の大きいやつですね。それを一応入るように今、準備をしております。やっぱりウクライナの関係とかで、やっぱり半導体はかなり薄くなってきているというのを実際に業者さんのほうから話を聞いております。その中で今、ドコモさんと a u さんとソフトバンクさんをメインな形で入手していただけるような形で話は進めているんですが、まだちょっとはっきりと必ず届きますという回答はいただいておりますが、その辺りを今後とも詰めていかせていただいて、できれば年度内には、そろえていきたいなというふうに考えております、早めに。だから、すぐにじゃあ6月に入札で落ちたから、次すぐに来るとするのは、ちょっとそこまではまだ言い切れない状況にはなっております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 片川議員。

~~~~~○~~~~~

○9番（片川） 一般的な情勢見たら、入らん思う。こういう機械は、半導体を使うとるので、ほぼ遅れ遅れでね。特にこういう P a d 系統は、難しいんじゃないかなと思うんじゃけど、これは反対しとるわけじゃないんですよ。反対しとるわけじゃないん

ですが、反対するとすれば、入らんものであれば16台は要らないよというのは、私、言いたい、14台。入るいうもんが、必ず何月に入れますいう業者のほうのあれがあるんならあれですが、恐らく確保できんのじゃないのかな。予算として、コロナ予算として、これを使うて導入するんじやいうことで、どうしても16台、先に使わにゃいけんのかいうような、非常に不審に思うところで、いつ入るいうのが業者のほうから返事できていないでしょう、今ね。これはいつ頃分かるんでしょうかね。

~~~~~○~~~~~  
○議長（大瀬戸） 事務局長。

~~~~~○~~~~~  
○議会事務局長（榎並） まだ具体的なうちのほうも、仕様のほうが定まっておりません。これを提示をしてから具体的に今度、業者さんのほうに提示をした中で、多分、納入の期間は長く延びる。少し間を、期間を延ばす形にはなるとは思うんですが、それで、要は入札に入っていただけの業者さんということは、入るといって確約の中で入っていたので、その状況で進めさせていけるかと思っております。

やっぱり小さな、最初の小さい11インチのやつだったら、どうにかそれは入るらしいんです。ただ、やはり利用する上では、やっぱり少しでも大きいほうが見やすいと思いますし、せっかくなのでという形で一応、iPad proを進めていこうという形で今頑張っておりますので、入るように努力していきたいと思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~  
○議長（大瀬戸） リースならば、とりあえず小さいのにして、また換えるということも可能なんですけど、購入という形になりますから、なるよね。

~~~~~○~~~~~  
○議会事務局長（榎並） はい、今回は、購入で。

~~~~~○~~~~~  
○議長（大瀬戸） だから、一遍買ってしまおうと、しばらく買い替えるというのは、なかなかすぐには難しいということで、どうせなら、今最後の大きな画面のほうで、やっぱり使いやすかろうということで、そこのところには照準を合わせてますから、どうしても入手困難ということですが。流動的にはありますが、遅くなっても年内ぐらいには、めどが立とうと。入らないなら入らないという答えが出てくるだろうというよう

なことを思いますので、とりあえず入るという前提で進めながら、駄目ならやむを得ないという、また考え方を変えないといけないということになると思いますので、とりあえずその前に、だからソフトをまず決めて、それから今度は、ハードに取りかかるという段取りになるということですね。

ほかに何かありませんか。

福垣内議員。

~~~~~○~~~~~

○2番（福垣内） 今、ソフトとハードを分けようという話だったんですが、iPad proというのは、ある程度、グラフィックス、画像ですとか音楽の編集をされるような方が使うような高額な機種であろうと思うんです。今回、我々が、この2つの中から選ぶのであれば、単なるページビューは、本を読むだけのものだと思うんですね。それを高額な機種を、わざと一番高いものを前提として話をするのはどうかと。画面が大きければ見やすいだろうというのは理解ができることなんです、用もないのに一番高いのを、また国から予算が下りてくるから買おうとする姿勢というのは、後で考えてみたら無駄なことになったりするんじゃないかと思います。ですので、ソフトの話とはちょっと飛ぶんですが、機種をiPad pro前提というのは、いかななものかと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） なるほど。

片川議員。

~~~~~○~~~~~

○9番（片川） そういうことはよう分らんのですが、今からシステム改修されてって、いろいろな機能が出てくるとするじゃない。ほんならproやったら対応できても、もし安い分じゃったらそれが対応できんいうことは、一応我々が使うパソコンなんかじゃ考えられるじゃない。そういうことはなんかね。わしは、分からんで聞きよんで。意地悪じゃのうて、教えてくれんさい。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 福垣内議員、何かありますか。

~~~~~○~~~~~

○2番（福垣内） 私は技術者じゃない。ただ、それ言い出したらきりないので、ここ3

年のうちにとんでもない技術革新が起こるなら、それは無理でしょうし、そげなことはないとします。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） それじゃあ一言、事務局長。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） i P a d p r oというのは、もちろん機能がすごくいいものです。ふだん使うには、十分それ以上の機能として、先ほど言われたようにグラフィックとか音声とか、そういったものを編集するのに使うには、すごくいいものなんです。

ただ、今言われた大きさをということになると、12インチというのがi P a d p r oしかないんですよ。普通のi P a dで11インチであれば、何ぼでもあるんで、11インチであるというんでは、すぐにでもそれは多分入るという話は確約いただいとるんですが、大きさがどうしても12.何インチな形で、それはp r oという限定になっております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） そういう状況があるようです。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） ごめんなさい。最低でも5年は使いたいなふうに思っております、購入した時点で。それで考えると、長い目で見ると、やはりできるだけスペックのいいものは置いときたいなというふうに考えております。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ほかに。

諏訪本議員。

~~~~~○~~~~~

○7番（諏訪本） 銭のことなんですが、月額2万5,000円とか、それから片方は、月額4万5,000円ですか、それから片方が月額が5万7,000円、これは毎月1台ずつこんだけの金が要るんですか。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 事務局長。



(「初期費用にあるようですね」の声あり)

○議会事務局長(榎並) はい、全部含めて、この金額でやりますよ。今年度はやりま  
すよという形だそうです。一応、仕様のほうが、3回講習という形をうたっております。  
以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) ほかにありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(大瀬戸) ないようでしたら、それぞれの条件を考えながら、それで先ほどのプ
レゼンを踏まえて、この2社のうちの1社にソフトを決めていきたいと、今日決めて
いきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

どうしましょう。どちらがいいという御意見があれば、まず聞きましょう。ありませ
んか。特にどっちでも。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) 時光議員。

~~~~~○~~~~~

○10番(時光) 私、結局3回目のプレゼンを聞いたもので、やはり納入実績、キッセ
イさんも全部出してないですけど、そういうところを見ても、やはりS i d e B o
o k sのほうがいいんじゃないかというふうに思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) 分かりました。

ほかの御意見は。

光本議員。

~~~~~○~~~~~

○3番(光本) 今の業務経歴書を、時光議員同様、東京インタープレイは、県内結構取
ってますよね。というんで、業者以外の実際にユーザーのほうのいろいろな情報交換
とかする意味でも、インタープレイのほうがいいかな思うんですが、自分的には。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) 分かりました。そういう意見です。

ほかに御意見ありませんか。

今、お二方のほうから Side Books のほうが、諸条件、若干お金のほうは少し高いんですけども、いろんな条件から見て、いいのではないかという意見が2人から出ましたが、ほかに御意見がないようでしたら、決を採るというか、まず、Side Books のほうから伺いたいと思います。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○議長(大瀬戸) それでは、Side Books に決定することということに賛成の方は、挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

○議長(大瀬戸) では、多数と認めます。

では、Side Books に決定させていただきます。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) 続いて、その他に入りますが、何かございませんか。

尺田議員。

~~~~~○~~~~~

○5番(尺田) ちょっと気になっと思ったんですけど、今回のこれとはまた別ですよ。どうだろう、もしタブレット導入したら、本会議場とか委員会室とか、それぞれコンセントが要るんじゃないかなと思うんですよね。充電がなくなったりとか、あの辺もうちょっと考えてもらえんのかな思うて、どうだろうか。長時間本会議だったら数日にわたってあるじゃないですか。充電が切れたときにどうするんだろうとかいうのがあるんで、ちょっとその辺も。

~~~~~○~~~~~

○議長(大瀬戸) じゃあ事務局長、ちょっとお願いします。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長(榎並) その件につきましては、事務局のほうもちょっと懸念しておるところもあります。執行部のほうとも、やっぱりその辺、議場のほうの電源の確保とか、委員会室のほうの確保については、今後ちょっとお話をしながら対応できるような方向で、ちょっと進めていきたいと思います。現状、今一応もうWi-Fiのほうは使えるような状態にはなっております。

以上です。

~~~~~○~~~~~


あるじゃないですか。あっこへ1つないと、置いてもらえりやのうと思て、前々から
思いよんじゃが、無理かね。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 事務局長。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） 早急に対応させていただきます。

~~~~~○~~~~~

○9番（片川） お願いします。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ほかにありませんか。ないですか。

（「なし」の声あり）

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） それでは、全員協議会、これで終了いたします。お疲れさまでござい  
ます。

（閉会 15時15分）

上記の記録の内容が正確であることを証するため署名する。

熊野町議会議長

熊野町議会副議長